

**JASDAQ**

2016年10月5日

各 位

会 社 名 マックスバリュ九州株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 佐々木 勉
(コード番号: 3171 JASDAQ)
問 合 せ 先 管理統括部長 篠崎 岳
(電話番号 092-433-1228)
当社の親会社名 イオン株式会社
代 表 者 名 取締役兼代表執行役社長
岡田 元也
(コード番号: 8267 東証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2016年4月13日に公表した2017年2月期通期(2016年3月1日～2017年2月28日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社は2016年9月1日に子会社である株式会社クリエイトを吸収合併し連結子会社がなくなったことから、2017年2月期第3四半期より個別決算による開示へ移行いたします。

記

1. 業績予想の修正

2017年2月期通期個別業績予想数値の修正(2016年3月1日～2017年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円/銭
前回発表予想(A)	160,000	2,100	2,100	600	79.67
今回修正予想(B)	166,000	2,150	2,200	600	79.65
増減額(B-A)	6,000	50	100	0	
増減率(%)	+3.7	+2.3%	+4.7%	0.0%	
(ご参考)前年同期実績	155,037	2,054	2,131	474	63.06

2. 修正の理由

第2四半期累計業績を踏まえるとともに、完全子会社である株式会社クリエイトの吸収合併による業績影響を鑑み、通期業績予想の修正を行いました。

子会社の吸収合併により、売上高は増加が見込まれるため166,000百万円の見通しに修正いたしました。

しかし、営業利益及び経常利益につきましては、合併に伴う新規投資や改装投資が発生する見込みであり、さらに本年4月に発生した熊本地震により、実施延期された既存店の改装計画を第3四半期以降に順次実施していくため、投資とイニシャルコストの発生を予測しております。さらに、当初予測を上回る人材確保難の発生による労務コストの増大や、原油価格や為替の変動による水道光熱費の上昇傾向等、ランニングコスト増大の可能性を認識しており、営業利益2,150百万円、経常利益2,200

百万円の見通しに修正いたしました。

当期純利益につきましては、子会社吸収合併に係る損失が発生する可能性があり、600 百万円の見通しを据え置きにさせていただいております。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上